

停車場通信

平成24年3月10日発行

厚別会館冬季避難訓練・宿泊体験会



ハイゼックス
炊飯袋に米と
水を入れ鍋へ



できあがり

2月3日から4日にかけて、厚別会館で、冬季避難訓練・宿泊体験会を行いました。真冬に大地震が起きて、電気、暖房が使えない中、収容避難所である厚別会館で一夜を明かし、寒さを体感するという訓練で、22名（うち宿泊18名）の方が参加しました。

まず、日赤奉仕団厚別中央分団の皆さんによる炊き出し訓練のあと、東日本大震災後の大船渡市に派遣となって水道復旧に携わった、厚別区総務企画課山野職員の講話や、防災ビデオの鑑賞などを行い、午後10時、ホールで就寝となりました。ところが、炊き出し訓練の熱が残っていたせい、ホールの室温が思ったより下がらず、寒さを体感するという点では今ひとつ。そんな課題もありましたが、防災について考えるきっかけとなったのではないかと思います。

厚別中央地区演芸大会



あ、さて、さて、さてさてさて、さては南京玉すだれ



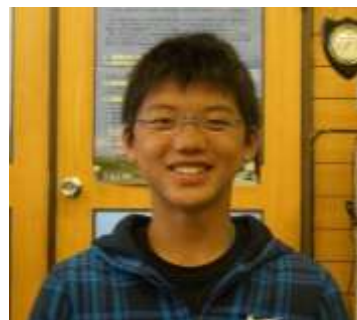
浅野殿、殿中のごさる・・・刃傷松の廊下

2月19日、厚別区民センターで、厚別中央地区演芸大会が開催されました。今回は、演目数24、延べ135名の皆さんが、日頃の練習の成果を披露してくださいました。会場では、手拍子や掛け声が飛び、はてはおひねりも投げられるなど大いに盛り上がり、約400名の観客の皆さんも、楽しいひとときを過ごされたようです。

【厚別中央のひと⑤】 少年の瞳は真っ直ぐ世界を見つめる

子供のころに思い描いた、「野球選手になりたい」という夢は、現実と折り合う日々の中でいつしか忘れられてしまうものです。

しかし、初志を忘れず、努力を続ける者には夢を叶える権利が与えられています。今回は、昨年の全日本ジュニアテニス 14 歳以下男子シングルスの部で見事優勝し、大きな夢に向かって、この春、厚別中央から羽ばたく、畠山成冴（なさ）さん（厚別中央2条、15 歳）にお話を伺いました。



インタビュー

畠) → 畠山さん

イ) → インタビュアー-厚別中央まちセン山本

イ) 優勝おめでとうございます。ノーシードから勝ち上がったと聞いていますが、まずそのときのお話からお伺いします。

畠) 2回戦目から当たったのが、これまでの対戦で負けていた人たちでした。いつもコーチからは本当の実力を出せば勝てる相手と言われていたのですが、これまでどうしても本領を発揮できない感じで負けていたのが悔しかったです。ところが決勝も含め、全部勝ってしまいました。これといって心がけたこともないのですが、毎日毎日の練習の中で、メンタル面、心が強くなったのかと思います。不利なときでも自分を盛り上げるとか、前向きに考えることができるようになって、一步一步成果を出せるようになったのかなと思います。自分の実力がついてきたことを実感できて、とてもうれしかったです。

イ) 成長期って、これまで超えることのできなかつた壁を簡単に突破できる時があるんですね。ちょっと羨ましいです。それでは、話を戻して、テニスとの出会いから伺いたいのですが。

畠) テニスを始めたのは5歳からです。最初はスキーの選手になることも夢見ていました。7才くらいからテニスに没頭し始めましたが、小学校ではテニスのクラブ活動はありませんので、一般のテニスクラブに通っていました。幼稚園から一緒にテニスをやっていて今も続いている友達がいます。ダブルスも一緒に組んだり、1週間に3,4回は一緒に練習をしていて、お互いに全国大会とかも行って、それで高校も一緒なんですよ。大事なライバルで、パートナーです。

イ) 切磋琢磨できるいい友達を得ましたね。そして、小学生、中学生で数々の大会に出られ、優秀な成績を挙げられたとお聞きしています。それにしても今中学3年生で、遊びたい盛りだと思うのですが、どうですか。つらい、やめたいと思ったことはありませんか。

畠) 全然遊べないです。長い時間遊んだのは、中学校生活で2,3回しかなくて、放課後帰ったらご飯を食べてレッスンに行く毎日です。もちろん時間があれば遊びたいのですが、限られた時間でどちらかと言われたらテニスの方が好きなので。つらいとかきついことはあります、練習ですから。でもやめたいと思ったことはないです。

イ) 目標としている選手はいますか。

畠) ロジャー・フェデラーが一応の目標ですが、特定の選手が目標というよりは、世界のトップになりたいです。

イ) 言い切りましたね。まずはその目標に向けて、神奈川の湘南工大附属高校に進学すると聞いていますが。

畠) 全国で優勝、準優勝を重ねている学校なので、レベルの高い選手もたくさんいてすごく刺激になると思います。北海道では、正直言って先ほど言った友達くらいしか身近に打ちあえる相手がいなくて、クラブでの練習時間が限られています。向こうでは放課後も長時間練習できるので、思う存分やりたいです。

イ) 先ほど、世界のトップという大きな目標をお聞きしました。それでは、もう少し短期的というか、高校に入ってからステップアップを、どのように思い描いていますか。

畠) 今まで北海道からの選抜でしたが、今度は関東からの選抜になるので、レベルが違います。全国で当たった相手が、関東の予選で当たることになるので、まずは関東から全国大会に出ることです。もう少し遠くの目標だと、ジュニアの世界ランクがつくITFという大会があります。そこで勝って、ポイントを重ねて、グランドスラムのジュニアに出ることですね。

イ) 楽しみです。ところで、これまでも国内外の合宿を経験していますが、親元を離れての生活に不安はないですか。

畠) ちょっと怖がりな面があるので、それだけがちょっと心配です。料理は好きなので自炊は大丈夫です。

イ) それでは栄養管理もばっちりですね。では最後に、畠山さんにとって、テニスとは何ですか。

畠) うーん(しばらく考えて)、「それしかない」ですから。



ここからがスタートと気を引き締める畠山さん。「テニスとは」の問いにすぐ答えが浮かばなかったのは、すでに畠山さんとテニスが一体で、畠山さんの存在そのものがテニスなのだからではないでしょうか。ハイレベルの環境で、これからいくつもの壁にぶち当たることでしょう。それを乗り越え、大きな夢をつかんでください。畠山さん、ありがとうございました。

畠山成冴さんが「厚別区民ふれあい事業実践者」に選ばれました

今回の「厚別中央のひと」で紹介した、畠山成冴さんが、このたび、厚別区民ふれあい事業実践者に選ばれ、奨励金が贈呈されることとなりました。

これは、厚別区民ふれあい推進会が、まちづくりやスポーツ、芸術、文化の面において顕著な活動をしている団体、個人に対し奨励金を贈呈するもので、畠山さんは、昨年7月の全日本ジュニアテニス14歳以下男子シングルスで優勝した実績が認められたものです。

畠山さん、おめでとうございます。



厚別本陣はまなす太鼓～公開練習を行います～

地域のまつりやイベント等で、豪快かつ華麗な演奏を披露してくれている、厚別本陣はまなす太鼓が、3月25日に群馬県で開かれる第14回日本太鼓ジュニアコンクールに出場することになりました。

3月20日（火・祝）の公開練習で全国大会出場曲のお披露目も行います。多数の方々の激励をお願いいたします。

公開練習

日時：平成24年3月20日（火・祝）14：00から

場所：信濃小学校体育館（厚別中央4条3丁目）

スリッパ等と外靴用ビニール袋をお持ちになり、暖かい服装でお越しください。

詳細は、代表の山森さん（☎891-2095）へお問い合わせください。



◆編集後記◆（所長のつぶやき）

「エースをねらえ！」（40年近く前のテニス少女漫画の金字塔）を読んでいた世代としては、日本のテニスもここまできたのかと非常に感慨深いです。目の前の、まだ初々しい少年が、照れも気負いもなく、「グランドスラム」という言葉を口にしたとき、後輩たちが日本のテニスを強くしてくれることを信じ、自らを捨ててサポート役に徹したお蝶夫人や藤堂先輩の決意は無駄ではなかったのだと、物語と現実を混同してしまうほど、戦慄が走りました。畠山さん、いってらっしゃい。がんばって！〈山本〉

～編集・発行～

厚別中央まちづくりセンター 厚別区厚別中央4条3丁目3-6

電話 011-891-3907 FAX 011-895-0149

厚別区役所ホームページURL <http://www.city.sapporo.jp/atsubetsu/>

札幌市役所ホームページURL <http://www.city.sapporo.jp/>



さっぽろ市
03-Q02-11-416
23-3-202